



2016年7月10日 (第173号)
発行所 カトリック高松司教区 広報委員会
〒760-0074 高松市桜町1-8-9
TEL 087-831-6659 FAX 087-833-1484
Email
教区: catholic-takamatsu@takamatsu.catholic.ne.jp
広報: tk-koho@mxi.netwave.or.jp
生涯養成: yousei@takamatsu.catholic.ne.jp
WEB://www.takamatsu.catholic.ne.jp/

カトリック高松教区報

マザー・テレサの言葉
愛というカウンには縁飾りがついていません。しかも、その縁は「心」に触れます。ですから、愛は道や路地から、ゴミを掃き出すことが出来ず、愛は、汚れを清める役割を果たさなければなりません。

今こそ武力によらない平和を

司教団メッセージを考える

イエスは歴史の中に生まれ、人々と共に生き「神の国」を証された。癒し、希望、解放、照し、回心、赦し、慈しみ、命の取戻しの業は、天の御父の証でした。イエスによって呼び集められた教会共同体はイエスのこの使命に生き、そこに傷ついたり、社会があるのなら回復させる方向を指し示す愛をイエスから受け継いでいます。そこで、カトリック日本司教団司教協議会は以下の勧めを提案しています。

2016年3月29日に安全保障関連法が施行された。日本のカトリック教会が平和のために働く使命を果たすために、この安全保障関連法が神の望まれる平和の道にふさわしいかどうか今一度鑑別することは重要なることだと思えます。そこで、平和を願う皆さんに、昨年の戦後70年メッセージ「平和を実現する人は幸い、今こそ武力によらない平和を」をもつ一度読んでくださるよう、お願いしたいと思います。その際、以下の説明を参考にしてください。

キリスト者は今何をなすべきか
戦争へ導く危険な安保関連法

特定秘密保護法や集団的自衛権の行使容認によって、事実上、憲法9条の内実を変え、海外で武力行使できるようになる今の政治の流れに、懸念を覚えずにはいられません。
1 安全保障関連法に関する日本司教団の声明
日本の司教団は、2014年7月1日に安倍内閣が集団的自衛権の行使を容認する閣議決定を行なったとき、日本カトリック司教協議会の常任司教委員会で7月3日に抗議声明を発表しました。憲法の基本理念に抵触し、軍備増強と武力行使への歯止めを失わせ、戦後70年近

くにわたって保たれてきた国の形を変えるような憲法上の変更を「内閣の判断で行ったこと」について、非常に大きな問題があると考えたからです。
さらに、戦後70年にあたる昨年2015年の2月25日、司教団メッセージ「平和を実現する人は幸い、今こそ武力によらない平和を」を発表しました。被支配の関係を国家権力に禁じ、宗教団体が国家権力

2 平和についてのカトリック教会の使命
戦後70年メッセージ「平和を実現する人は幸い、今こそ武力によらない平和を」の精神に反するのではないかと指摘されています。これらについては、昨年のメッセージの最初の段落で、「教会は人間のいのちと尊厳に関する問題に沈黙できない」と述べました。カトリック教会は、特定の政治的立場に立つものではなく、最近の日本の政治

3 日本国憲法と戦争放棄
憲法とは、国家の仕組み、基本的な権利や社会権、行政機構や国際関係、立法精神や国家体制を明示するものです。日本国憲法は、平和主義を国是として

3 日本国憲法と戦争放棄
憲法とは、国家の仕組み、基本的な権利や社会権、行政機構や国際関係、立法精神や国家体制を明示するものです。日本国憲法は、平和主義を国是として

4 集団的自衛権行使の是非
集団的自衛権の行使を現する安全保障関連法は、カトリック教会が目指す平和の道とは相容れない法律ではないでしょうか。
なぜなら、それは、国際的緊張を高めて、敵が心をおおきく人を戦争へと駆り立てているからです。安全保障関連法は、日本が攻撃されていないのに、他国間の戦争に参加できるようにする集団的自衛権の行使を中心としています。日本が攻撃を受けたときに限って自らを守ることができるとする個別的自衛権と異なり、集団的自衛権は他国の戦争に自ら参加していくもので、憲法9条が明白に禁じているのです。
こうして「戦争放棄」の大原則を覆ってしまうと、日本は「戦争をする国」として、これまでになかった危険にさらされることになるかと考えます。「現代世



を行使したり権力と癒着したり、便宜の提供を受けたりしてはならない、という政治活動の是非は区別されず、むしろ、わたしたちは信者としての良心に基づいて政治活動を行うべきであり、その権利と義務を持つていくのです(第二バチカン公会議「現代世界憲章」75参照)。
さらに、教会の権威者は政治についても、信仰と道徳に関するものであれば、必要に応じて、適宜、教えと見解を表明する義務と権利を有するのです(同76参照、憲法74第2項)。
さらに、政府は改憲に向けた作業の中で、「緊急事態条項」を新設しようとしています。

緊急事態条項とは、災害・戦争などの緊急事態に一時的に政府に立法権を付与し、個人の自由や権利を制限する国家緊急権を認める規定です。
日本の司教団が今、日本国憲法の不戦の理念を支持し尊重するのは当然のことです。
戦争放棄は、キリスト者にとってキリストの福音そのものからの要請であり、宗教者としてのいのちを尊重する立場からの切なる願いであり、人類全体にとっての解放することのできない理想なのです。
カトリック教会は、平和とは、単に戦争がないことでもなければ、敵対する力の均衡を保持することでもなく、他者および他国民と、また彼らの尊厳を尊重する確固たる意志および兄弟愛の実践によって築かれるものと考えます。「現代世

抑止力をもって平和を維持しようとするものです。
これは、他国との際限のない軍拡競争を招く恐れがあり、防衛費が増大していくと、わたしたちの生活も大きな影響を受けることになるでしょう。
そもそも武力で武力を封じ込めようとして平和を守ることなどできるのか、わたしたちは考えるべきでしょう。
平和を願う皆さん、わたしたちは今、本当に大きな時代の岐路に立っています。わたしたちは先の大戦から近代戦争のもたらす大量破壊すなわち一般市民に対する甚大な被害を体験しました。
それは、日本が受けた被害のみならず、日本がアジア諸国へ与えた被害をも含め、一般市民に対する無差別な攻撃による殺戮の体験でした。
ここに、原爆による被害は言語を絶するものでした。わたしたちはこの被害の悲惨さと苦しみを共有したと無関心だと、知る権利、表現の自由、裁判を受ける権利が脅かされていることに気が付かない。こんなことに黙っていて良いだろうか。
政治の問題を信仰とは関係がないと放っておくのは、信者としての責務を果たしていないことになる。この危機的な状況に意見も表明せず、行動もしなければ、「あなた達大人は、長年大切に守ってきた平和憲法をなぜ手放したのですか？」と子供たちに問われる時が来る。
一人一人が責任を持って、政治に対してイエス、ノウをはっきり言うことが大切

危機に直面する平和憲法
松山で松浦司教が講演



松浦司教を囲んでの懇談会

講演会で松浦司教は、日本は確かに戦争が出来る国へと歩み出している。だが、私たちが守ってこられる平和憲法が生き残っているから、国家は国民の自由を束縛することはできない。しかし国民の権利を守る憲法が改正される危機に直面している。
無関心だと、知る権利、表現の自由、裁判を受ける権利が脅かされていることに気が付かない。こんなことに黙っていて良いだろうか。
政治の問題を信仰とは関係がないと放っておくのは、信者としての責務を果たしていないことになる。この危機的な状況に意見も表明せず、行動もしなければ、「あなた達大人は、長年大切に守ってきた平和憲法をなぜ手放したのですか？」と子供たちに問われる時が来る。
一人一人が責任を持って、政治に対してイエス、ノウをはっきり言うことが大切

松浦司教を囲んでの懇談会
講演会で松浦司教は、日本は確かに戦争が出来る国へと歩み出している。だが、私たちが守ってこられる平和憲法が生き残っているから、国家は国民の自由を束縛することはできない。しかし国民の権利を守る憲法が改正される危機に直面している。

人生は旅、心の旅路です。今いるところは仮の住まいです。本当の住まいを目指して、どのような旅をすればいいのでしょうか。
ろうそくは光を与えながら、自分は消えていきます。私達もいのちを限りなく無条件に与えながら、せめて見返りを期待しない旅路を歩みたいものです。
以前、イスラエルを旅した時、訪問教会の美しい壁画を眺めながらマグニフィカトを唱えたことを思い出します。「わたしは神をあがめ、わたしは神の救いによるこびおどる。神は思いつく者を打ち砕き、権力をふるう者をその座から下ろし、見捨てられた人を高められる。」
この賛歌はすでに福音の訪れではないでしょうか。聖母の喜びが山上の垂訓と同じ響きとなって満ちあふれています。
聖母は原罪の汚れなくやどられた方ですから、当然のこととして、地上の生涯を終えて肉体と靈魂とともに、天の栄光に上げられました。
こうして聖母は教会の初穂として旅する民の希望、慰めとなりました。人はみな死にますが、どのような死であらうとも、聖母は私達を受け入れてくださると私は信じています。
あわれみ深き御母マリア、どうかあなたの御取次によってあなたの御子イエスを、旅路の果てに私たちに示してください。

2016年4月7日
日本カトリック司教協議会
常任司教委員会
だと言われた。
さらに司教は次のようなことを強調された。
「信仰と政治は別のものではない。介護や福祉・人権等とそれをどうも政治とは切り離せない。生活の場、信仰の目で見ると、キリストの福音に照らして政治を考えよう。無関心が一番怖いのです。」
講演後、私の中で信仰と政治参加が一つの道に繋がった。私は一歩踏み出して政治に対して積極的に意思を表明しようと思った。
松山教会 尾崎壽一

松浦司教を囲んでの懇談会
講演会で松浦司教は、日本は確かに戦争が出来る国へと歩み出している。だが、私たちが守ってこられる平和憲法が生き残っているから、国家は国民の自由を束縛することはできない。しかし国民の権利を守る憲法が改正される危機に直面している。

修道院紹介

聖母被昇天修道会 高松修道院



玄関先に勢ぞろい

開設50周年を迎え感謝

高松教区の当時の
教区長、田中英吉司
教様からのお招きを
いただき、私たちが
ここに、多肥下町に修道院を
開設したのは1966年9
月、今から丁度50年前のこ
とでした。

今年が高松修道院創立50周
年を迎えます。これは、
何よりも司教様方、神父様
方、桜町の信徒の皆様方の
沢山のお祈りと多大な協
力の賜物と深く感謝申し上
げます。本当に、ありがと
うございました。

私たちの生活は、毎日の
ミサを中心に、「教会の祈
り」(朝の祈り、読書、昼
晩の祈り、寝る前の祈り)
が共同で唱えられ、午後には
聖体礼拝の時間が3時か
ら晩の祈りまで、行われて
います。(ミサのために毎
朝司教館からおいでくださ
る神父様に感謝)

そして、朝の念祷はミサ
の前に45分、午後には各
自30分の聖体礼拝の時間
でお祈りすることが出来ま
す。

ここに、私たちは日々の
活動の源泉を見出し、周
りの人々を苦しんでいる人々
のために、共に祈りする



シスター方の宣教拠点である高松修道院着

生きるかを共に祈り探して
いくために行われています。
またSr・キリスから引き
継いで「生活の中で祈る」
という祈りの会や幼稚園の
保護者のための聖書の集い、
卒園生のための「マリアの
子ども会」も昨年より再開
されました。

また病院訪問、刑務所の
訪問なども桜町の皆様方の
ご協力を得、Sr・エンジ
ナが担当しています。

幼稚園では、昨年、給食
棟を建設し、自園の給食を
園児たちに提供しています。

幼稚園は来年50周年を迎
えます。未来の希望である
子どもたちのために、また
保護者の皆様方のために一
層、祈り、子どもたちの幸
せを願ってさらに努めてま
いりたいと存じます。皆様
方のお祈りとご協力を切に
お願い申し上げます。

さらに、来年2017年
は創立者聖マリ・ウージェ
ニーとその協作者Sr・テレ
ズ・エマヌエルの生誕20
0周年をお祝いいたします。

私たちはこの記念の年を
迎えるに際して、世界35ヶ
国の姉妹たちと心を合わせ、
創立者の精神を更に深める
よう学び、み国のために働
いて行きたいと願っており
ます。

また、修道院で
はA・T (Assim
ilation Together)
聖母被昇天友の会
が毎月1回、開か
れ、創立者の心を
学び、現代社会に
おいて、創立者の
霊性をどのように

『典礼奉仕』のために (25)

典礼ひとくち解説 その2 「ミサは最も素晴らしい恵みの場」

高松教区典礼委員長 谷口広海



昨年11月の待降節から、
各地区・ブロックで新しい
「ローマ・ミサ典書」の総
則に基づき変更箇所につ
いての学びと実践に励んで
参りました。

行爲であり、位階によって
秩序立てられている神の民
の行爲であって、全教会に
とつても、地方教会にとつ
ても、また信者一人ひとり
にとつても、キリスト者の
全生活の中心である。

去年12月8日、無原罪の
聖母の祝日に始められた特
別聖年はおよそ半年が経過
した。

「あなたが地上でつなぐ
ものは天でもつながら、あ
なたの方が地上でつなぐ
ものの方が地上でつなぐ
ものよりも素晴らしいの
か」と思われるところがい
たるところで見つかる。こ
れはまさに神様は人を、
お近くに呼んで下さって
たのかという思いである。

「あなた方が地上でつなぐ
ものは天でもつながら、あ
なたの方が地上でつなぐ
ものの方が地上でつなぐ
ものよりも素晴らしいの
か」と思われるところがい
たるところで見つかる。こ
れはまさに神様は人を、
お近くに呼んで下さって
たのかという思いである。

「右近の大変な苦勞とそ
の奉獻は信仰によるもので
した。それは長い殉教生活
でもありました。」(ハリ
オ・デ・レデスマ1615
年フイリピン年報)
「昔も今も聖人たちの役
割ははつきりしています。
傷みかけた教会や世界を修
復し、人々の呻きに応じて
働く聖霊のさややかに静か
に耳を傾け、その協力者と
なることです。400年後
のいま福者に加えられる右
近も教会をはじめ日本の社
会に光を差し出す者として
いるのです」と古巣神父様
は力説されました。

ひと 98歳 老後を祈りのうちに

中村教会 上岡忠美さん



44年12月10日受洗。

若い頃、補修科を卒業した時
に、受け持ちの女先生から、高
知の盲聾学校の校長に会って
みませんかと言われ面会、欠員
の教師の採用のための面会で
した。

不安があったため少し時間を
いただき教育者であった叔父に
相談、答えは「明るく接して、
導いてあげれば良いのでは」と。
そして奉職することになりました。
戦時中、独身教師たちは生徒
と共に寄宿生活でした。

その女性教師のなかの一人
が、キリスト教の信者さんで、
その方の生き方に感銘を受けて
いました。折々の話の中で、そ
の方は聖公会に行っているが、
カトリックが本筋なのでカトリック
へ行くように勧められました。
彼女に代母をお願いし、江ノ口
教会で洗礼を受け、結婚後、ご
主人も洗礼を授かりました。

終戦後、ご主人はリュック一
つ背負い帰国。勤めるより「農
」をと当時、既に戦災にあった人々
や引揚者などが多く入植してい
た下川口開拓地へ入植しました。

入植者が増える当然、人々
のための設備が必要となり、子
供たちのために下川口小学校分
校ができ、教員免許をもってい
た忠美さんは採用され、長年奉
職しました。

ご主人にとっては慣れない農
業で大変な苦勞だったようで
すが、教師という仕事が、生活の
助けとなったという話です。

高知市内に住み、病気がちの
ご主人は病院を転々とされました
が、3年後に亡くなり、家族
の勧めで、土佐清水へ帰って来
ました。

現在は「ゆうわ渭南」へ入居
し、交代で訪れる家族と穏やか
な日々を送っています。

ご本人の弁では「朝夕毎の1
時の祈りは貴重な幸せな時間。
亡くなった方々への感謝の祈り。
そして神父様の訪問、信者さん
の訪問、すべてに感謝の日々で
す」と。

詩篇に「言葉と思いが神様に
喜んでいただけるように」でき
ますように思っているそうで
す。

お歳98歳、祈りで始まり、祈
りで一日を終えるといううらや
ましい日常です。本来は年齢で
はなく、だれもが目指すキリス
ト者としての生活です。微笑み
の中に忠美さんの健寿を祈るも
のです。

中村教会 宮崎律子

高松教区修道女連盟総会
と研修会が6月18日、小豆
島天主教会で開かれました。
総会に続いて「神の慈し
み」をテーマとした「神の慈し
み」について造詣の深い古巣神
父様に講話を頂きました。

イクナチオ・ロヨフから
フランシスコ・サレエル、
ロレンソ・斎、高山右近へ
と宿った出会の神祕は、
「人は全世界を手に入れた
も、自分のいのちを失った
ら、何の得があるのか」
(マタイ16章)と、右近を
見る世界から次第に信仰
の世界へと向かわせ、また
茶の湯を潜心と祈りの場と
し、特に慈善事業に心を配
りました。「右近殿の模範
的で質素な生活は、人々を
納得させます。右近在る



心一つにミサの中

聖トミニコ宣教修道女会
S・丹下台子

「神のいつくしみ」で分かち合う

大阪教管区は去る6月10日(金)に、いつくしみの大聖年・司祭の聖年の集いを大阪府田尻市・ファミリア教会において開催した。大阪教管区5教区から司祭・助祭150名ほかが集まり、司牧者一人ひとりが個人として、共同体として、この世界で「いつくしみ」をより明確に示すし」となるための相心しい道を探るための手助けとなるように、基調講話と、13の分科会に分かれて、司牧現場における神のいつくしみの体験や個人的ないつくしみ理解等について分かち合った。その際、分かち合うの内容を、わたしたちの聖年理解のヒントとなるよう抜粋する。

大阪教管区司祭ら150人

★責任者になって打ち砕かれ、苦しい、貧しいと感じた時に「主あわれみたまえ」という祈りがよく出てきた。
★司祭生活50年、神のいつくしみ以外に無い。
★司祭は神のあわれみのアイコン(イメージ)でも自分を見ることと違ってくる。
★司祭がいてこそを通して神の恵みが伝わらばと思う。
★いつくしみの特別聖年に祈るために集まった人々の姿を通して神のいつくしみを感じた。

「赦せる人は傷つける人より強い」 「試練の中で神は愛してくれた」

★小教区としての秩序を壊してまで、すべての人を受け入れようとすると秩序を保つのは難しい。
★毎日のミサの中で「いつくしみ」を繰り返して唱えるが、本当の意味を分かっているのか自分を振り返る。教会においては管理の要素もあるが、それは「いつくしみ」とぶつかることになる。
★幼稚園の保護者の方とコーラスを行っていて、聖年の歌を一緒に歌い、伝えていく。お母さんから子どもに伝わるいつくしみを考えている。
★9・11以来閉ざされた世界になってきた。それに伴い教会も閉ざされた教会になってきているのではない。防犯カメラが抵抗なく付けられている雰囲気がある。何もできないという自分を認めることからいつくしみを感ずる。
★アダムが一人だけではかわいそう。神のいつくしみ。裸ではかわいそう。打ちのめされた人への共感。限界を取つたようなニュアンス。徹底して相手に向き合う。「共に」のニュアンス。
★人を人らしくするような向かい方にさせてくれる。「思い、言葉、行い」が「いつくしみ」に繋がる。我々はその三つがバラバラになることがあるが、いつくしみをそれをつなげてくれる。
★心を痛める、これがいつくしみ。
★いつくしみには必ず相手がいる。イエスはとことん相手に関わる。無限に関わりの中で、一人ひとりの尊厳をもっと大切にしなければという思いを湧き立たせてくれるのが「いつくしみ」。
★壁を作る人はキリスト者ではない。壁を壊す人がいつくしみのある人。
★何かをする努力ではなく、何もしていない必要。それは自分を振り返る時間を大切にすること。それを通して神のいつくしみが自分に降り注いでいることを感じるようになる。
★キリストの傷跡から見る



神のいつくしみについて分かち合う司祭団



「いつくしみ」を深く「御父のよび」

★格差社会、競争社会の中で、一人ひとりの尊厳をもっと大切にしなければという思いを湧き立たせてくれるのが「いつくしみ」。
★壁を作る人はキリスト者ではない。壁を壊す人がいつくしみのある人。
★何かをする努力ではなく、何もしていない必要。それは自分を振り返る時間を大切にすること。それを通して神のいつくしみが自分に降り注いでいることを感じるようになる。
★キリストの傷跡から見る

★未洗者の結婚、離婚を経験し、神のいつくしみを体験。愛と赦しは教会に必要である。
★男性、司祭というパワーの影響を受けた。イエスのいつくしみとパワーとの対比。司祭のパワー。その構造、反響させられる。
★「すべきたどか、くは良くない、というところばかりで「いつくしみ」という言葉は聞いたことがなかった。すべてを失っても神のいつくしみに残るはず。
★悪霊の存在を感じる。ヘイトスピーチ、死ね、返事をしろ。いつくしみも働くが悪霊も働く。これに對して投げかける言葉が見つからない。パワー不足。でも教会は安全地帯でもある。わたしの隣人になつてくれるのかと試されている。『ヨハネ』ではなく、『マタイ』。
★自分の生活レベルをミサでも下げることがごめんという感じ。だから目を閉じると、誰もいかにここにカトリックの人は行く。叫びを聞き取ろうとする。赦しの秘跡、司祭のパワーではない。人としての喜び、深い司祭としての喜びに繋がる。十字架は苦しみのシンボルであり、喜びのシンボルである。
★エンディングノートなど、自分の生涯を振り返って、神のいつくしみをどう働いて来たか。
★日本は豊かだが、「社会」へコミットするために、週に何時間アルバイトをするのはいいか。病者、信徒の訪問を大事にしている。教会の外の団体で子どもたちを教えるためのボランティアをしている。
★いつくしみの人は、人を助けるだけでなく、人を育てる意味があると思う。
★教皇の言葉「人類は傷ついている」が印象に残った。我々司祭も傷ついている。なかなか司祭同士で分かち合えない。家庭訪問も難しい。病人のために共に祈りましょうと呼びかけたことも、様々な事情で公にできないことがある。悪の力に縛られている。色々規則があつて自由にできない。
★神が愛する社会であるという確信を自分が持つていないという気があつた。
★現代はこれまでのどの時代にもまして、いつくしみをもちて悪と戦う必要がある。ガンジー「赦しは強者にだけできる特権」。赦せる人は傷つけた相手より強いということ。
★ルワンダの内戦を生き延びた少女の体験。家族を殺した相手に発した言葉「赦します」。神から来る心の平安が与えられた。
★ミサを始め秘跡を行つているとき、欠点が多い自分にも関わらず、任せてくださっていることにいつくしみを感ずる。
★危険な宣教師や自分の全く知らない宣教師に派遣されて神に助けを求めた。しかし、神は現状を変えるよりも難しい試練の中で付き添ひ、愛してくれた。
★神のいつくしみの「お優しい」とイエジーしがちだが、「罪と罰」という問題を考えないと神のいつくしみを意味をなさない。神は罪を嫌うが、すべてを御子に背負わせて赦した。いくら人間が罪を犯しても、どんなに憎んでも、地獄へ落とさない神のいつくしみ。御子の死をもってしてまで人を赦される「真剣な」神のいつくしみ。

2015年度カトリック高松司教区現勢調査報告

1. 信徒数概況

Table showing the number of Catholics by region (香川県, 愛媛県, 高知県, 徳島県) and total counts for various categories like total population, number of priests, etc.

5. 信徒数動向

Large table showing the movement of Catholics (births, baptisms, deaths, marriages) by parish and region for 2015 and the previous year.

- 4. 教区内組織
・司教顧問評議会
・司教司牧評議会
・宣教司問題役員連員会
・経済任道女委員
・典礼養成委員
・生涯養成委員
・青少年委員
・教会学校教師会
・カトリックボーイスカウト
・中高生会
・広報委員
・人権を考慮する委員会
・諸宗教対話委員会
・エキュメニズム委員会
・女性の視点で教会を考える委員会
・高松教区幼稚園連合会
・神学生養成委員会(一粒会)
・高松サポートセンター
・外国人司牧・ICC

2. 人員構成

Table showing the composition of personnel, including counts for priests, deacons, and other church members.

3. 諸施設

Table listing various church facilities such as schools, kindergartens, and social service centers, along with their respective counts.

教区スケジュール

Table of the diocese schedule from July 10th to August 28th, listing various feast days and events.

今も聞える優いお声

故トマス・マヘル神父の思い出

4月17日、私は高知の中村に住む岡本伸二さんから一通のハガキを受け取りました。



マヘル神父と談笑する岡本氏(右)

手にしたハガキには、インドネシアのジャカルタの風景が映っていました。

「まさか」。私は急いでそのハガキを裏返すとそれはトマス・マヘル神父の死の知らせでした。

「私は一人の老人を知っている。彼はいつも重荷を負っていたが、決して苦痛から逃れようとはしなかった。」

「私は本心で幸せだったよ。ありがとう。」

突然やってきました。思えば神父の晩年は老いと共にやっつゝる病気の根柢で、どんなに苦しい時もクチひとついわず、従順に柔和な心で全てを受け入れ、神父の毎日の生活の中にはいつも神さまがいました。

今、私の中で古い映写機が回り始めました。トマス神父の優しい笑顔がクローアップされ、バックに神父の大好きだったジャズが流れています。

「私は本心で幸せだったよ。ありがとう。」

外国人研修女性らが増え、和装を楽しむ会。八幡浜教会

そのような中で、最近若い女性の共同祈願奉仕者が増えています。

折しも、5月9日は、May 9を「メイク」とよむ「メイクの日」です。

成門のある八幡浜市日十町清水医院で撮影会を行いました。

ベトナム4名、フィリピン1名計5名の方々は、早速母国へ写真を送り、喜んでいただきました。

高松教区報では地区・ブロックあるいは小教区での講演会や行事等、皆さんに周知したい広告や報告記事を募集しています。

聖ドミニコ宣教修道女会. 神を観想し、その実りを人々に伝えよ.

「人間にとって一番大切なものは心を育てることである」. マリア幼稚園.

私たちは、自分を創造しようとするこどもをまなび、護りましょう. 暁の星学園.

白浜満神父広島教区司教に

6月28日(火)、教皇フランシスコは、司教空位となっていたカトリック広島教区の新しい司教に、サン・スルピス司教区所属、日本カトリック神学院院長のアレシオ・白浜満神父(54歳)を任命すると発表しました。

白浜被選司教の叙階式の日程は、おって発表されます。

白浜被選司教の叙階式の日程は、おって発表されます。

白浜被選司教の叙階式の日程は、おって発表されます。

白浜被選司教の叙階式の日程は、おって発表されます。

白浜被選司教は広島教区の教区長として歴代7人目、教区に昇格してからの司教としては4人目となります。

広島教区(広島、岡山、鳥取、島根、山口)の信者は聖職者と修道者を含めて2万946人、司教56人、助祭2人、修道士・修道女203人が働いています。

白浜被選司教の叙階式の日程は、おって発表されます。

白浜被選司教の叙階式の日程は、おって発表されます。

白浜被選司教の叙階式の日程は、おって発表されます。

白浜被選司教の叙階式の日程は、おって発表されます。

熊本地震へ支援を

TSCでは当面の支援を左記、福岡教区の支援窓口と、カリタスジャパン、「熊本地震」緊急募金受け付け窓口へ直接、個人あるいは団体での寄付をお願いしています。

福岡教区

福岡中央銀行金尾支店

加入者名・宗教法人口座番号(普通)1076206

加入者名・宗教法人口座番号(普通)1076206